

今でも続く
南相馬への支援に感謝！

よこた よしあき
横田 美明

南相馬市経済部長

昭和39年(1964)、南相馬市生まれ。

震災時は南相馬市教育委員会事務局幼児教育課子ども企画係長として奔走する。

その後、復興企画部除染対策課長、総務部次長兼秘書課長を歴任し、

2020年4月より経済部長を務める。

震災直後、教育委員会事務局職員として幼稚園、保育園、放課後児童クラブに通う子どもたちの安全と施設の確認をまず行いました。妻は看護師として患者さんを泊まり込みで見て、私自身は市役所に数日間泊まり込んでの業務。自宅は津波で被害を受け、帰宅できず、当時小学6年生だった息子には、避難所で祖父母と一緒にいましたが、心細い思いをさせました。その後、東京大学先端科学技術研究センターの児玉龍彦教授が市を訪問。放射線が子どもに与える影響について説明していただき、「できることがあれば協力する」との言葉に力をもらいました。それからは毎週、東京から南相馬を訪れて指導していただき、早い時期に園舎等の放射線量測定を開始できました。私は児玉教授に指導していただいたことから、その後の除染対策担当に。住民の皆さんの理解と協力を得て、除染計画策定から除去土壌の仮置場の選定を含めた除染作業の推進まで行いました。実現できたのは災害時に地域コミュニティが力を発揮したから。そして、県内外のボランティアの皆さんの支えも大きかった。今でも児玉教授をはじめ、支援者の方のサポートが続いていることが本当にありがたいです。



南相馬市除染推進委員会の視察。東京大学先端科学技術研究センター教授(当時)児玉龍彦氏(右から3人目)とともに